



2021年12月8日

「CO2排出量可視化ソリューション」の提供開始について ～物流領域におけるCO2排出量算出と削減シミュレーションの提供～

株式会社NTTロジスコ(代表取締役社長:中江康二、本社:東京都大田区、以下「NTTロジスコ」)は、物流領域におけるCO2排出量を算出してレポート化し、さらにCO2を削減するためのシミュレーションを行う「CO2排出量可視化ソリューション」の提供を開始しましたのでお知らせいたします。

1. 背景

昨今、世界各国で脱炭素化経営に向けた動きが加速しており、日本でも2050年までにCO2排出量実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指す脱炭素化に向けた取り組みを進める企業が増えています。

そのような企業から「自社で排出するCO2排出量は把握できるものの、サプライチェーン全体の中で物流領域で排出されるCO2排出量を把握することが難しい」「ガイドラインに沿った排出量の計算が必要だが、データの収集や数値算出に稼働がかかっている」など様々なご相談を頂きました。

このようなお客様ニーズにお応えすることを目的として、物流領域におけるCO2排出量を算出してレポートとして提供すると共に、共同配送や梱包資材の見直し等各種施策の実施によるCO2排出量の削減をシミュレーションする「CO2排出量可視化ソリューション」の提供を開始しました。

2. ソリューション概要

(1)CO2排出量レポート

輸配送及び倉庫内での活動について、入出荷量や輸送重量等の必要データを収集し、精査をしたうえで配送、および拠点でのエネルギー使用に関してCO2排出量を算出し、可視化します。

- ①算出基準:「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer.2.3※1(環境省・経済産業省)」に準拠

※1:本ガイドラインは国際的なデファクトスタンダードになりつつある「GHGプロトコル」に則って作成されています

- ②算出項目:サプライチェーン排出量のScope3の「カテゴリ4 輸送、配送(上流)」に該当する、輸配送および、倉庫内のエネルギー消費における排出量を基本項目とするが、お客様のご要望により項目の調整は可能

- ③レポート形式:所定様式にCO2排出量を算出して提出

- ④レポート頻度:四半期毎を想定(月次、年度等のご提示にも対応)

※当ソリューションは、当社3PLサービスをご利用のお客様へのご提供を想定しております。

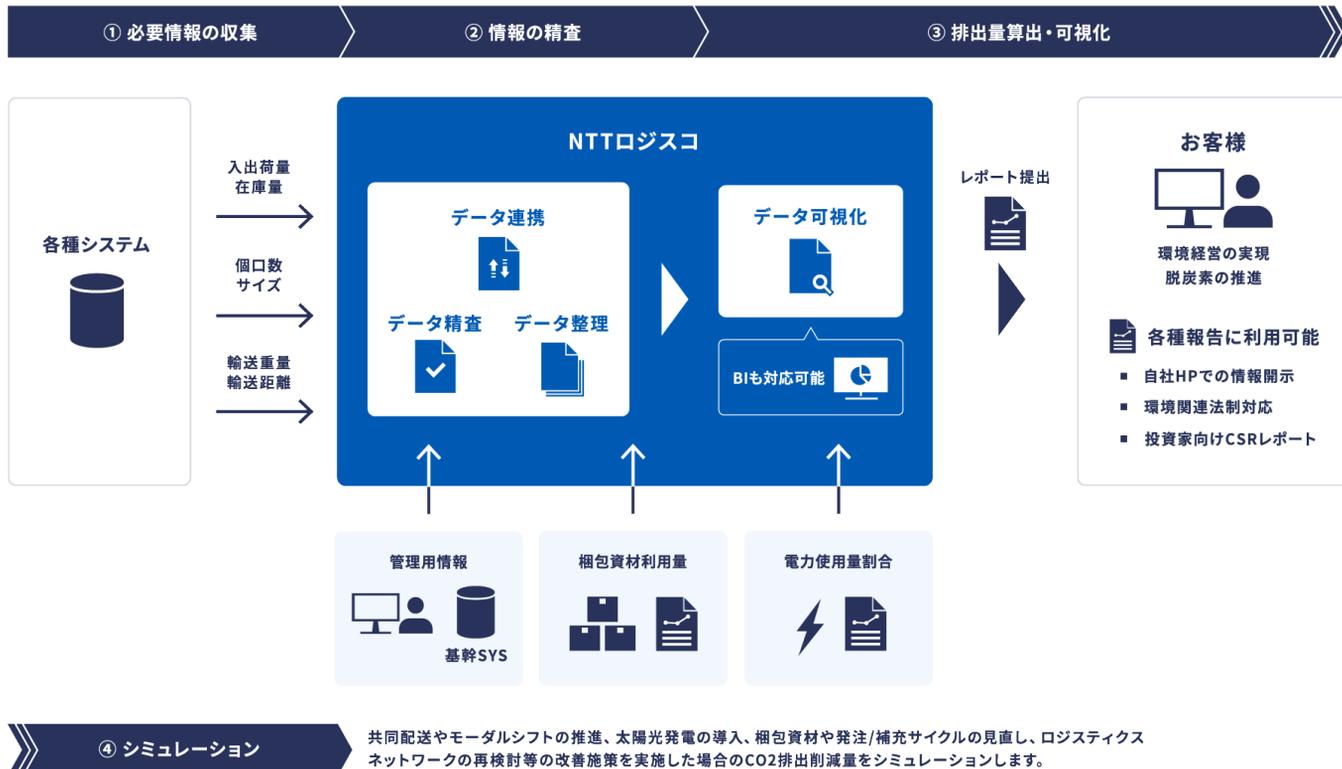
(2)CO2排出量シミュレーション

NTTロジスコでは、共同配送やモーダルシフトの推進、太陽光発電やEV車両の導入推進、梱包資材の見直し、需要予測や発注/補充の見直しによる商品廃棄の削減、ロジスティクスネットワークの再検討等、各種施策をご提案・導入して頂いた場合のCO2排出削減量のシミュレーションを行います。

NTTロジスコは、3PL事業者ならではの多角的且つ実行可能なCO2削減シナリオを設定し、社会的な課題となっている環境経営に取り組むお客様のCO2排出量削減に向けた取り組みをサポートします。



「CO2排出量可視化ソリューション」概要図



▼ CO2排出量可視化ソリューション (NTTロジスコ公式Webサイト)

<https://www.nttlogisico.com/service/co2visualization/>

<本件に関するお問合せ>

「ニュースリリース」に関するお問合せ
企画総務部 広報担当 TEL 03-6436-8105
URL <https://www.nttlogisico.com/>

「CO2排出量可視化ソリューション」に関するお問合せ
企画総務部 コンサルティング営業推進PT
TEL 03-6436-8184